

令和5年11月度 一般社団法人獨協大学同窓会社員総会議事録

日時	令和5年11月23日(木祝)13時00分～14時30分
運営会場	アットビジネスセンター東京駅八重洲通り 602 号室
形態	オンライン会議
出席社員に関する事項	出席率 95.2% (社員数21名中 20 名出席) 内訳:会場出席 5 名、オンライン出席 10 名、書面行使出席4名、委任行使出席1名、 欠席1名 <その他>監事3名、専門委員1名
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開 会 2. 社員総会成立確認 3. 議 決 <ol style="list-style-type: none"> (1)令和 5 年 9 月期事業報告承認の件 (2)令和 5 年 9 月期決算書類承認の件 ・監査報告 (3)今後の同窓会組織について 4. 報 告 <ol style="list-style-type: none"> (1)令和 6 年 9 月期 事業計画について (2)令和 6 年 9 月期 一般会計予算について (3)令和 6 年 9 月期 奨学金特別会計予算について (4)令和 6 年 9 月期 縦柳会特別会計予算について (5)令和 5 年 9 月期 株式会社デュオ決算案について (6)令和 6 年 9 月期 株式会社デュオ予算について (7)支部代表者の変更について (8)同窓会事務局長について 5. 閉 会

定刻 13 時 00 分、議長 大西純一(以下議長)が開会宣言を行った。

代議員総数 21 名のうち 14 名が出席。過半数を満たし、社員総会が有効に成立している旨が報告され、議事に入った。

議決事項

(1) 令和5年9月期事業報告承認の件

議長が資料に基づき説明を行った。

令和5年9月期事業報告について承認を諮ったところ、反対意見はなく、承認された。

主な意見

澤田大輔代議員：事業報告書には日付と事柄のみでなく、理事会で決定したこと、トピックス、支部総会の開催状況（参加人数など）、委員会の活動状況などを盛り込んだほうがわかりやすい。

高木大介代議員：事業報告に記載されている内容の大半が会議（理事会や社員総会）や協賛であり、本来は同窓会の事業（イベントの開催、会報の発行など委員会の活動）を掲載したほうがよいと思う。今期の活動停滞を受け、次期にどうつなげていくかを考慮して承認すべき。

事業報告に記載されている内容の大半がコロナなどに関連した一般論や会議（理事会や社員総会）などの業務報告であり、本来は同窓会の事業（イベントの開催、会報の発行など委員会の活動）報告を記載すべきだ。今期の活動停滞をきちんと受け止めて、次期にどうつなげていくかを考慮して承認すべきだ。

以上の意見に対して議長は次回は前向きに検討したいと回答した。

高木代議員が議決権行使書と委任状、欠席について報告がないことを指摘したことを受け、金井専務理事が内訳を報告した。

議決権行使書：4名（全員が第1号議案～第3号議案についてすべて賛成。）

委任状：1名、高木大介代議員に委任。

欠席：1名

澤田代議員が会議冒頭に議長と議事録署名人について説明がなかったことについて指摘した。

議長はそのまま会長が進行し、議長が柳田茂光代議員に議事録署名人を依頼した。

柳田代議員が承諾し、反対意見もなかったため、議事録署名人として選出された。

(2) 令和5年9月期決算書類承認の件

会長が資料に基づき説明を行った。

高木代議員：今、会長がお示くださったのは事務的な内訳にすぎない。ここで大事なものは収入が減ってきていること

と、支出がそれに対してどうなっているかだ。例えば会費収入の減少についてこの数年間のデータはないのか？同窓会が厳しい状況であるならなおさらその状況を確認して、次に向かっていく総会でなければならぬ。

高木代議員の発言を受け議長が次の説明を行った。

会費収入は 50,990 千円

内訳:卒業時に納入する終身会費 31,590 千円

初年度受入金が 19,400 千円

卒業生に対する同窓会入会者 前年は 72% 今年は 60%

約 500 名減、金額にすると 1000 万円減

支部関係の支出が減少しているが、開催が少なかったため、来期は増加すると予測される。

澤田代議員から入会率が減った原因についてどのように分析しているかという質問があった。

議長が下記のとおり見解を述べた。

入学時、学費などの引き落とし手続きをウェブで行うようになった。ウェブ手続きを選択された方は自動的に4年時の同窓会終身会費3万円の引き落としに同意したことになるので、会費収入が増えることを期待していたが、思ったよりもウェブ手続きを選択する人が多くなかった。(ウェブ口座に登録した人は800名程度。書面で同意書を取り付けていた時の方が加入率が高かった。)

今年卒業した学生はコロナ禍で大学にほとんど通えず、大学に帰属意識が持てなかったのではないかと

澤田代議員から会報の発行部数、名簿管理について質問があった。

佐藤理事(広報担当)が現在の発行部数は 48,000 部と説明した。

高木代議員(前広報担当理事)が8年前の発行部数は 46,000 部、その頃から 2,000 部程度しか増えていないと補足説明した。

議長が会報は同窓会入会の特典であること、また会員のデータ管理、住所などの変更、会員情報のメンテナンスをするうえで会報の発送が必要であると考えを述べた。

澤田代議員が会員数 67,000 名に対して会報の発送部数が 48000 部、会報の発送部数が増えていないということは、会員情報のアップデートができていないのではないかとという意見を述べた。

・発送して宛先に尋ね当たらないというケースもあると思うが管理できているか

・会員組織の基本は名簿と会報があること。プッシュ型の唯一の手段である会報は重要なツールである。

澤田代議員より資料6Pに掲載されている「奨学金準備金」が7Pの56期 予算比 収支決算書に記載されていない点について質問があった。

高木代議員から、奨学金は特別会計として別に記載されているのでは？と指摘があった。

金井専務理事(財務担当)が8Pの奨学金特別会計貸借対照表に掲載していると回答した。

高木代議員が奨学金寄付者の減少について、会長に見解を求めた。

高木代議員:会報に掲載している寄付者名簿によると令和元年は453件、令和2年は456件の寄付があった。

単年度約320万円の寄付金が集まっていたが、今期の決算書に載っている寄付金収入は237万円。

奨学金の寄付者と金額が減った件について一体どのように考えているのか？(同窓会に協力する気持ちが薄れているのではないか？)

議長が新たな取り組みとして昨年奨学金の銀行口座引き落とし制度を導入したことを報告した。本制度を利用している寄付者は「3名しかいないので、もう少しいろいろな方法を研究して取り組んでいきたい」との言葉が付け加えられた。

高木代議員が同窓会活動の停滞が加入率や寄付金の減少に反映しているのではないかとということを真摯に受け止め、事業を活性化していくべきであり、それを踏まえたうえで決算書の承認をするべきではないかと発言した。

富岡卓監事が令和4年11月1日の監査結果を報告した。

帳簿の記入、通帳や証書、証拠書類の整理・保管、現金の出納が確実に処理されており、その計数が正確で、収支ともに適正に執行されていた。

議長が決算書類承認について諮ったところ、異議なく承認された。

(3)今後の同窓会の組織について

議長が資料に基づき、今後の同窓会の組織について次の通り説明した。

株式会社デュオは現在、恒常的な赤字体質になっている。このままでは一般社団法人獨協大学同窓会の経営にも影響を及ぼす可能性がある。まだ余力があるうちに適正な形に移行する必要がある。原因は経済的な環境の変化と管理職の不在、人件費の高騰が挙げられる。同時に同窓会も新入会員の激減で、こちらも転換期に来ている。一般社団法人獨協大学同窓会と株式会社デュオ取締役会が合同でプロジェクトを立ち上げて検討した結果、下記のように組織を変更することを提案する。

同窓会と株式会社デュオの業務委託を終了し、同窓会の事務は一般社団法人獨協大学同窓会が職員を採用して行う。株式会社デュオは、一般社団法人獨協大学同窓会と獨協大学の子会社として、大学内の店舗管理など大学が必要とすることだけを行う会社とする。

主な発言

高木代議員:本案は極めて重要なことである。何を決議したのか、もっとはっきりした条文がなければまずい。二行ぐらいの文章にして、これについて我々は責任もって承認したということで残さないとまずい。

議長が、高木代議員の提案を受けて、第3号議案文章の修正のため10分間の休会を宣言した。

(10分間の休会)14:20再開

修正前：(3) 今後の同窓会の組織について



修正後：(3) 一般社団法人獨協大学同窓会が株式会社デュオとの業務委託契約を終了する方向で今後検討を進める件

一般社団法人獨協大学同窓会が株式会社デュオとの業務委託契約を終了し、同窓会の事務業務は一般社団法人獨協大学同窓会が職員を雇って自分達で行い、株式会社デュオは同窓会と大学の子会社として大学が必要とする店舗管理などの業務だけを行う方向で検討する。今回承認をいただくのはここまでで、細部については承認をいただいた後に、検討していく。

議長が、採決にあたり、大西純一は一般社団法人獨協大学同窓会会長と株式会社デュオ取締役を兼務しており、大きな問題はないが、両者間で利益相反になる可能性がある。リーガルチェックを受けた結果、念のために一般社団法人獨協大学同窓会社員総会及び理事会と株式会社デュオ株主総会及び取締役会ともに説明と質問を受けるところまでは出席し、議決するところは一時退席して、山本副会長に代わりをお願いすると説明した。

議論の中で代議員からわかりにくい部分があるので一部修正が提案され、議案を『一般社団法人獨協大学同窓会が株式会社デュオとの業務委託契約を終了する方向で今後検討を進める件』、内容を『一般社団法人獨協大学同窓会が株式会社デュオとの業務委託契約を終了する方向で今後検討を進める件』一般社団法人獨協大学同窓会が株式会社デュオとの業務委託契約を終了し、同窓会の事務業務は一般社団法人獨協大学同窓会が職員を雇って自分達で行い、株式会社デュオは同窓会と大学の子会社として大学が必要とする店舗管理などの業務だけを行う方向で検討を進める。』と修正された。満場異議なく承認された

採決に入り、議長が、大西会長から山本副会長に交代した。

議長が、第3号議案『一般社団法人獨協大学同窓会が株式会社デュオとの業務委託契約を終了する方向で今後検討を進める件』一般社団法人獨協大学同窓会が株式会社デュオとの業務委託契約を終了し、同窓会の事務業務は一般社団法人獨協大学同窓会が職員を雇って自分達で行い、株式会社デュオは同窓会と大学の子会社として大学が必要とする店舗管理などの業務だけを行う方向で検討を進める。』をお諮りした。

議長が本件について議場に諮ったところ、満場異議なく承認された。

参考データ:全代議員数22名中、2名欠席、1名棄権で有効票19票。

採決結果は、賛成19票。

報告事項

(1)令和6年9月期 事業計画について

議長が資料にもとづき報告を行った。会議や集いの場合は、必要に応じ対面での開催を予定しているが、オンライン形式での理事会は今後も継続したいと報告があった。

(2)令和6年9月期 一般会計予算について

(3)令和6年9月期 奨学金特別会計予算について

(4)令和6年9月期 縦柳会特別会計予算について

(5)令和6年9月期 株式会社デュオ決算案について

(6)令和6年9月期 株式会社デュオ予算案について

大西会長(デュオ取締役)より今期の営業利益はマイナスになったと報告された。

(7)支部代表者の変更について

議長より茨城県支部と岩手県支部の支部代表が変更になったことが報告された。

(8)同窓会事務局長について

議長が株式会社デュオ総務部長兼獨協大学同窓会事務局長に沖山秀司氏を採用する件について報告した。

以上をもって会議は終了。議長が弊会を宣し、15時40分に散会した。

【議長】

大西 純一

【議事録承認者】

大西 純一

柳田 茂光